



令和2年度日米共同統合防空・ミサイル防衛訓練について

自衛隊は、下記のとおり令和2年度日米共同統合防空・ミサイル防衛訓練を実施します。

記

1 訓練の目的

弾道ミサイル対処及び防空戦闘に関するシミュレーション訓練を実施し、弾道ミサイル等対処に係る自衛隊の統合運用能力及び日米共同対処能力の維持・向上を図る。

2 実施時期

令和3年2月22日(月)から2月26日(金)まで

3 実施場所

陸上自衛隊松戸駐屯地、古河駐屯地、下志津駐屯地、青野原駐屯地、飯塚駐屯地、宮古島駐屯地及び八重瀬分屯地、海上自衛隊横須賀地区並びに航空自衛隊三沢基地、百里基地、横田基地、入間基地、小松基地及び那覇基地

4 統制官

(1) 自衛隊

統合幕僚監部運用部長 海将 下 淳市

(2) 米 軍

第7艦隊司令官 海軍中将 William R. Merz (ウィリアム・R・マーズ)

5 主要訓練項目

(1) 弾道ミサイル対処における日米共同対処

(2) 防空戦闘における日米共同対処

(3) 不測事態発生時における総合ミサイル防空能力の維持

6 参加部隊等

(1) 自衛隊：統合幕僚監部、陸上総隊、東部方面隊、中部方面隊、西部方面隊、陸上自衛隊高射学校、自衛艦隊及び航空総隊

(2) 米 軍：第7艦隊司令部、艦艇数隻、他

7 その他

本訓練は、2017年度から日米共同統合訓練として実施しており、今回で4回目